

令和7年度中学生オンライン交流会報告書

1 目的

青梅市の将来を担う子どもたちが、それぞれのテーマについて他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、子どもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催した。

2 日時

令和7年12月22日（月）

午後3時30分から午後4時30分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施

（対面とオンラインのハイブリット開催）

4 参加生徒

中学校10校（東中学校除く） 48名

対面 8校、オンライン 2校

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

15:30	開会	2分
15:32	説明・注意事項	3分
15:35	グループごと意見交換	40分
16:15	発表（各グループ2分以内）	10分
16:25	市長・教育長講評	5分
16:30	閉会	2分

(2) 当日の役割分担

全体司会…第三中学校

開会挨拶…吹上中学校

閉会挨拶…西中学校

グループリーダー・発表…「7テーマ」の網掛けの学校

6 実施方法

対面とオンラインのハイブリットによる交流とし、「7テーマ」のグループに分かれ、事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行った。グループで話し合ったことを全体で発表した。

7 テーマ

テーマ	中学校	
みんなが通いやすい、より良い学校にするために	グループ A	第七中、霞台中、 新町中、泉中
	グループ B	第一中、第三中、 第六中
	グループ C	第二中、西中、吹上中
こどもが幸せなまちについて	グループ D	第三中、西中、 第七中、泉中
	グループ E	第二中、第六中、 新町中
	グループ F	第一中、霞台中、 吹上中

8 発表内容

(1) 「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」

グループ A

私たちのグループが考える「みんなが通いやすい、より良い学校」とは、

- ・無理に交流しなくても良い雰囲気がある。
- ・安心して学べる環境がある。
- ・お互いに認め合うことができる。
- ・みんながまわりのことを信用でき協力的な環境がある。
- ・不登校生徒がいない。
- ・全校生徒が挨拶ができて元気に登校ができる。

という学校です。

このように思った理由は、

- ・交流が苦手な人も居心地が悪くないように、今日教室に来なくても毎日通えることが大切。
- ・学校はみんなが楽しいと思える場所であるといい。

- ・不登校生徒は、何かしら抱えているものがあるのでそれが一つでも解消されたらいい。
- ・人目を気にせず気遣いも要らないスペースがあるといい。という理由が挙げられました。

このような学校になるためにどんなことを行えばよいかは、

- ・悩みを相談できる大人がいる事が大切。
- ・カウンセラーが週一と少ないので来る回数を増やしてもらおう。
- ・図書館では、静かな学習環境にも限度があるので、高校にあるように個人で学習できる自習スペースを空き教室などに設置してほしい。
- ・グリーンリボン活動を通していじめについてより深く考える。
- ・プラスアルファで新たなイベントの企画や運営を行う。
- ・中央委員会などで意見交換を行い、いじめについて考える。
- ・挨拶運動に対して新たな取組を考えていく。
- ・別室登校ができるような環境をつくり、そのうえできちんと学習ができる環境をつくる。
- ・毎日振り返りの時間をつくり、各班で良い点や改善点を教え合う。
- ・各学校で連携し学校ルールの改正やいじめゼロに向け新たな取組を考える。
- ・市役所にアンケートを設置し、地域の方々から中学生の良いところや直してほしいところを書いてもらい、それをもとに生徒会内で今後自分たちがどのような取組をしたら良いか考える。

という意見が出ました。

グループB

私たちのグループで出た学校像は、生徒会が生徒の意見を聴き入れる学校です。なぜこのように思ったかという、生

徒の意見を取り入れることによって、友達との仲や先生と生徒の関係が良くなると思ったからです。

生徒の意見を聴き入れるために、生徒が誰でも意見が出せるような意見箱をつくることを考えました。意見箱だと投票しにくいので「お悩み相談ボックス」などのくだけた名前にすることによって気軽に意見を入れてもらうことができると思います。意見箱だけでなくグーグルフォームなどを使用して意見をたくさん聴き入れることが重要だと考えました。

そして、学校をきれいにすることも大事だと考えたので、保健委員会で学校の使い方を説明することで、きれいにできると考えました。

青梅市にやってほしいことは、他校との交流を増やしてほしいと考えました。理由としては、自分の学校だけでなく、他校の委員会などを取り入れることによって学校をよりよくしていくことができると思います。

グループC

みんなが通いやすい学校にするために、

- ・設備に関するルール、改善点を話し合える学校。
- ・挨拶を自らできる学校。
- ・清潔な環境づくりができている学校。

等が挙げられました。

清潔な環境づくりや誰でも「学校が過ごしやすい」と思えるように、市で清掃用具を充実させてほしいとの意見が出ました。また、みんなが校則を守り安心して生活をするために市内の学校が集まり、各学校の課題を話し合う場を設けてほしいとの意見が出ました。

(2) 「こどもが幸せなまちについて」

グループD

意見を交換した後に、こどもたちがみんな幸せであるために何が大切なのか話し合いました。

共通して見られたのは、安全であり安心できる場所であることが一番大切だということでした。安心できる場所に

ついてよく考えたのですが、その中で出てきたのは、自然やいろいろな年代の人と触れ合える場所があればいいという意見が出ました。

自然の意見では、公園などで自然と触れ合うのではなく、自然を見たり聞いたり等体験できる場所があればいいのではないかという意見でした。

また、いろいろな年代の人との触れ合える場所では、保育園生とその両親などいろいろな年代が触れ合える場所があればいいという意見でした。

グループ E

まず、大切なことは、

- ・青梅は自然が多く気軽に行き来できるところ。
- ・お金がかからず勉強もできる児童館等があること。
- ・こども食堂では青梅産の野菜を使う。
- ・大人や地域の人に頼ることも大事。

という意見を踏まえ、まとめでは、

- ・児童館や廃校をリニューアルして楽しめる場所をつくる。
- ・こども食堂や児童館にはお金がかからないのでフリーカフェや勉強できる場所を導入する。

という意見が出ました。

グループ F

「安心できる場所はどんなところか。ホッとする時間はいつか」という質問に対して出た意見では、家や学校、図書館等の公共施設。時間では、友達と過ごしている時間や逆に1人で過ごしている時間などが挙げられました。

なぜそのように思ったかについては、家などは信頼できる人といることや周りを気にせず自分1人の時間が確保できるから、また、友達と過ごしている時間については、友達といると安心するや楽しいとの意見が出ました。

「青梅市にどんなこどもの居場所があったら幸せか」の質問については、勉強に集中できる場所や年代問わず時間を気にせずに過ごせる場所、自然と触れ合える場所と交流

できる場を両立した施設などの意見が出ました。また、1人で過ごせる時間については、図書館のほかに個室などのスペースを作ってもらえたらいいなという意見が出ました。

9 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

全体	24名
生徒	18名
教職員	6名

(2) 「令和7年度 中学生オンライン交流会」の取組はいかがでしたか。

とてもいい	14名
よい	8名
あまりよくない	2名
よくない	0名

(3) その理由を教えてください。

ア 生徒

- ・他校と交流することにより自分の学校の取組をより良くしていけると考えているから今回のオンライン交流会は良かったなと思いました。また、青梅市を各学校の代表生徒でより良い市にしていく取組を考える機会があることによりどんな人でも青梅市はいい市だと思ってもらえるようになって行くなと思いました。
- ・他の中学校で行っている取組を知るきっかけがくれたから。
- ・他校の方々がどのように思っているのか、自分が気づかなかったことなどに気付けるから。
- ・今までと違い対面でだったので、より話し合いがスムーズに行うことができました。
- ・色々な学校の意見を互いに知ることができたからです。
- ・青梅市内の中学校と色々な意見を交換できてよかったからです。
- ・他の学校との交流もあり、知らない人でも仲良くできたか

らです。

- ・各校の代表として、それぞれの思いつかなかった意見交換ができてよかった。
- ・オンラインではなく対面での実施だったので、より円滑に会話することができ、表情なども見やすかったから。
- ・様々な学校と交流ができて有意義な時間にできたから。
- ・同じゴールを目指していても、そこに至るまでの取組が異なる学校が大半だったので、自分の学校を向上させていくための考え方を得られたから。
- ・他校の取組等について知ることができ参考になりました。
- ・普段自分が考えないようなことをしっかりとじっくり考えることができました。また、そのことに対して他の意見を聞いて考えを深めることができました。
- ・初対面でしたがしっかりと意見を出し合い高め合うことができたから。
- ・各学校で行っている活動を知れたことで自分たちが通っている学校にも、取り入れられるようなものがあったから。
- ・直接会って会議することでより活発にできていたと思う。
- ・オンラインで、言ってる内容が聞きづらかった。あと、意見が出しづらかった。話してる人の顔を見れなかった。
- ・あまり交流がない人との意見交換ができるいい機会だったので良いのですが、僕も含めてですが、全員定型文のような回答しかできなかつたなあ、と会議が終わったあとだったのでそう回答しました。また直接会議するのが醍醐味なのに来れなかった学校がいたのも改善すべきだと思います。

イ 教職員

- ・各学校の代表として相応しい意見の数々に感心しました。本校の生徒もオンラインでの参加でしたが、積極的にメモをし自分たちの学校に生かそうとする様子が見られ嬉しく思いました。
- ・対面で出来たことが生徒にとっても貴重な経験になった。
- ・各校の代表が集まり、交流することで横のつながりをつく

ることができる。代表生徒たちの取組やリーダーならではの悩みを共有できるのは、本人たちにとって心強い。

- ・活発に意見が出てレベルの高い交流会であったと思う。一方で、全ての学校で対面形式にて実施することで、より議論が深まると感じたから。

(4) 自由意見

ア 生徒

- ・もう少し長い時間を設け、さらに話し合いを深めていきたい。
- ・何組かオンラインのところがあったので、音声が届かない時があったりしました。次からは全学校対面で行ってほしいです。
- ・こういった交流の場は初めてだったので、とてもいい経験になりました。
- ・とても緊張しましたがグループごとにいたリーダーがまとめて話を進めてくれたおかげでスムーズに話し合いが進んで良かったです。
- ・いろいろ意見交流できてよかったです。これからの生徒会での活動に話し合った内容を取り入れてみたいですね。
- ・みんながわかりやすいような質問の仕方、返答で話し合いを進められていたから、考えがより深まったし、また反省するべき点も分かったので良かったです。
- ・去年は、全校がオンラインで、面と向かって意見を交わす機会が他校となかったもので、対面して意見交換できたことが、色々な刺激になって、良かった。

イ 教職員

- ・オンラインで参加させていただきました。グループで意見交換をする際に、他グループの音声が入ってしまい、自分たちのグループの内容が聞き取りにくくなってしまったので、環境に配慮していただくと助かります。
- ・対面で今回のようにやれると良いと思います。